

WVA ニュースレター — 2023年5月

WVA 会長からのメッセージ：ラファエル・ラガンズ

WOAH と WVA の協力関係



国際獣疫事務局（WOAH）が、動物衛生における緊急事態、人獣共通感染症の予防、動物衛生と福祉の促進、獣医療へのアクセスの向上に関する対応を調整する世界的な政府間組織であることを考慮すると、世界獣医師会（WVA）の使命は、提言、教育、パートナーシップを通じて、世界の獣医師へのリーダーシップを発揮し、動物衛生と福祉、公衆衛生を促進することです。WOAH と WVA は相互補完的であり、相互の目標と目的を達成するためのシナジーを創出するには強固な官民連携が重要であることは明らかです。

そこで WOAH と WVA は 2002 年から協力促進のために協定を結び、関連活動や国際会議へ相互参加し、見解を共有しています。協定の基準条項は定期的に見直されています。

2023 年 5 月 23 日、WOAH と WVA は共通の関心事項であるさまざまな分野においてより強固な連携を行うために、更新された協力協定に署名しました。協力していく分野には、ワンヘルス、獣医療サービスの良好なガバナンス、獣医学教育、及びパラプロフェッショナル（短期の講習を受けることで獣医療行為の一部を実施することが許可された職種）の技術トレーニングなどが含まれます。ワンヘルスに関しては、具体的に 2 つの協力分野として薬剤耐性と狂犬病をあげています。さらに広範な横断的の分野に対応する以下の目標が含まれています。

- 獣医学の専門家が医療や他の健康・環境関連の専門家と連絡・協力することの促進と支援
- 各国が公衆衛生、獣医療及び環境サービスの間の正式な協力協定を策定・明確化することを支援
- ワンヘルス共同行動計画の 6 つの行動計画に概説された活動を含む、各国におけるワンヘルス実践の支援
- 全てのレベルで、法的枠組みを含むワンヘルスのプロジェクトや取組における獣医療サービスのより良い統合を推進し、今後のパンデミックのリスクを減らし、予防するために働きかける
- ワンヘルスに関連する専門家、パートナー、その他の関係者との協力やネットワークを促進する
- 各国のワンヘルスに関する認知向上のための共同声明や啓発活動を行う

結論として、WVA にとって WOAH は重要な関係者であり、このパートナーシップ協定は、獣医学の進歩と世界中の人、動物、環境の健康基準向上に向けた効果的な協力を保証する不可欠なものです。



ウクライナ侵攻による欧州での狂犬病大流行の恐れ

中央及び東ヨーロッパの各国獣医師会が、2023年5月13日にポーランドのコウォブジエックで開催されたビシェグラード獣医師グループの春の会議に参加し、ウクライナが抱える狂犬病問題の解決に向けた行動を求める声明を承認しました。

会議では、ウクライナ獣医師会の代表者が、戦禍により何百万匹もの犬や猫が捨てられていること、家畜や野生動物の狂犬病の状況、ペットでの新規狂犬病の発生件数、そしてEUに入国する多くの難民が現在の健康要件を満たさないペットを連れてくることを報告しました。そしてEUに入るこれらのペットが、狂犬病清浄国でワクチン未接種のペットや野生動物と接触する可能性があること付け加えました。

これらの情報を分析した結果、現在の狂犬病のリスクは非常に高いことが明らかになり、この状況に対処するために協調した取組が必要と結論が出ました。ウクライナで行うべきと提案された行動は以下のとおりです。

- 人と動物の狂犬病ワクチン国家備蓄の補充
- 迷い犬や家畜の狂犬病に対する大規模なワクチン接種、去勢手術、及び個体識別票の装着
- 野生動物への狂犬病経口ワクチン散布
- 狂犬病の適切な診断水準を確保
- 迷い犬向けの追加シェルターの設置

ポジションペーパー

「ウクライナ侵攻による欧州での狂犬病大流行の恐れ」



世界的な高病原性鳥インフルエンザの制御における課題



国際獣疫事務局（WOAH）によると、高病原性鳥インフルエンザ（HPAI）は2005年から2022年までに世界中で5億羽以上の家禽の死と殺処分を引き起こしています。この病気の拡散と再発は、養鶏業界と農家の生計にとって世界的な脅威であり、食料安全保障、生物多様性、そして人のパンデミックに深刻な影響を及ぼす可能性があります。しかし、予防と制御策の実施にもかかわらず、HPAIは拡散し続けています。

現状を考慮して、2023年5月21日から25日にパリで開催されたWOAH第90回総会の議題として「高病原性鳥インフルエンザの世界的制御における戦略的課題」があげられました。報告者であるDavid Swayne博士は、HPAIの疫学と生態、現在の課題、そして検討すべき解決策のレビューを提示しました。

この議題が導入となって、WOAH総会では初めて鳥インフルエンザの動物衛生フォーラムが行われました。フォーラムには以下の4つの主要なトピックが含まれました。

- 鳥インフルエンザ情報—早期検出と予防のための監視とモニタリング
- 対応：ワクチン接種を含む早期対応と事業継続のための疾患制御戦略
- 弾力性：ワクチン接種実施下でも安全な貿易を促進するための国際基準
- 鳥インフルエンザの段階的制御に向けたグローバルな協調戦略

フォーラムの結論の中で、鳥インフルエンザはワンヘルス問題であり、包括的なアプローチを通じて取り組む必要があることが強調されました。この病気は、国際的及び地域的組織、異なる行政機関、及び全てのセクター及び関係者の取組と貢献を必要とします。信頼、透明性、及び協力が不可欠です。

世界中の監視データの欠如と、監視能力の不平等性に関連するギャップを解決する必要があります。低所得国が直面する課題を考慮する必要があり、その国々では家禽が食料安全保障と家計を支えるために必要であることを考慮する必要があります。

複数の階層レベルでのワクチン接種のガイドラインに取り組む必要があります。輸出を行っていない国々だけでなく、輸出を行っている国々や輸入を行っている国々にとっても必要です。そして、ワクチン接種を追加ツールとして追加するための監視ガイドラインの開発が必要です。

ゾーニング、区画化、及びワクチン接種に関しては、まだ多くの作業が必要です。どこでも適応できる唯一の解決策がある訳ではなく、WOAHの陸生動物衛生規約を実施して貿易と経済への影響を最小限に抑えるためにはさらなる指導が必要です。

最後に、[動物健康フォーラムに関連する技術項目に関する決議 28]

(<https://www.woah.org/app/uploads/2023/05/a-r28-tech-item-hpai-1.pdf>) は、HPAIのグローバルな脅威に対処するためのWOAHの推奨事項を概説しています。

[フォーラムのビデオを見る]

(<https://m.facebook.com/worldanimalhealth/videos/279908891059284/>)

第39回世界獣医師会大会 (WVAC) の開催



第39回世界獣医師会大会 (WVAC) は、2024年4月16日から19日まで南アフリカのケープタウンで開催されます。WVACは、世界中の獣医師が獣医学分野での経験や知識を交換するために集まることを目的としています。臨床獣医療、公衆衛生、動物ケア、技術革新などがプログラムの主要な要素です。

WVAは、南アフリカ獣医師会と協力してこのイベントを開催することを誇りに思っています！

WVAは、世界の公益のための獣医師としての役割について、まとまったメッセージを世界に発信するために、皆さまの専門知識と意見を必要としています。WVAの会員及びオブザーバー会員のご意見をお待ちしています。このプロセスから取り残されないようにしてください。

このニュースレターを貴会会員に伝えてください

- WVA ニュースレター (原文) の購読ページ: <http://eepurl.com/iiS2IT>
- WVA ニュースレターのウェブ版: <https://worldvet.org/about/newsletter/>

バックナンバーはこのページで確認できます。最新号もメール配信と同時に掲載されます。

ご興味のある方は、下記までご連絡ください。

WVA Rue Washington, 40, 1050 Brussels-Belgium

ウェブサイト: <http://www.worldvet.org>

電子メール: secretariat@worldvet.org

